R&Dフェーズ｜研究　**実用化時期**｜FY27-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#C16

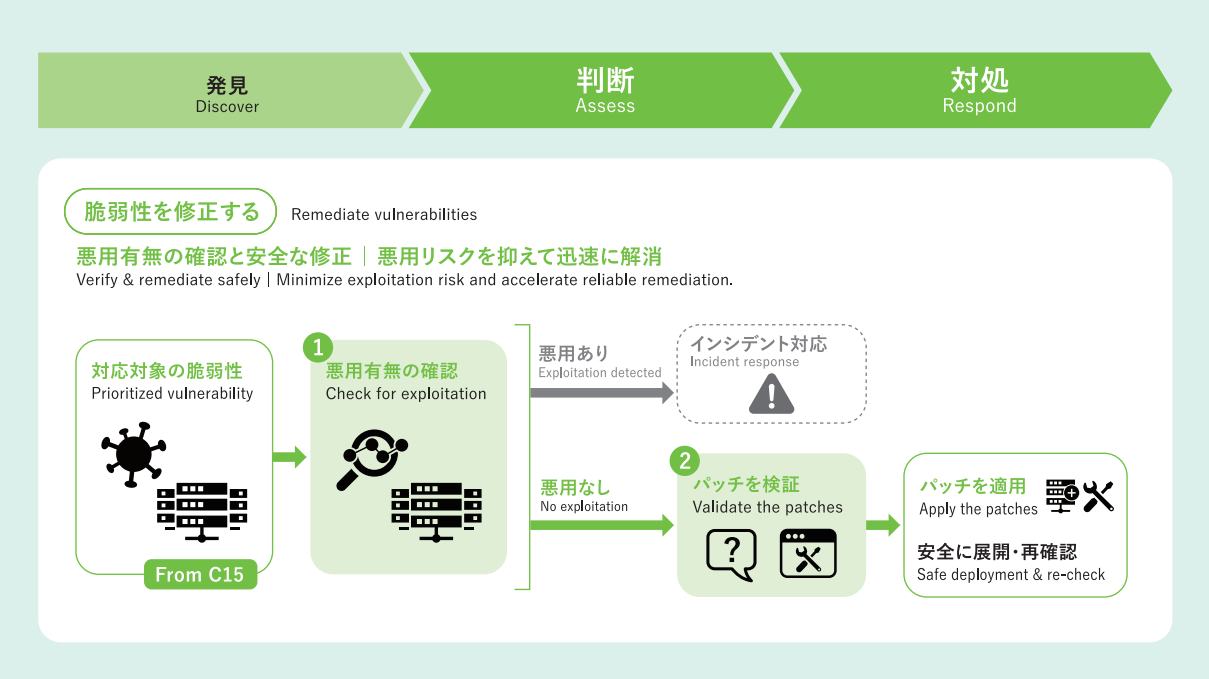
#サイバーセキュリティ#リスクマネジメント#安心・安全

悪用状況に応じた脆弱性修正技術

脆弱性対応時にボトルネックとなる作業を効率化し脆弱性修正作業を迅速化します

技術課題・ゴール

脆弱性発見数が急増し悪用可能性が高まる状況において、脆弱性パッチ適用にもスピード感が求められます。脆弱性による侵害有無調査やパッチ適用検証などボトルネックとなっている作業を効率化・自動化し、脆弱性修正作業を迅速化します。



技術ポイント

要素技術

・攻撃痕跡情報を再現し、脆弱性による侵害発生有無をAIが自動探索
・複数の脆弱性対処を統合して扱うことでパッチ検証作業を効率化

市中技術差異点

・AIにより各組織に特化した分析・検証を行うことで、従来人手で行っていた分析・検証を高速化し、パッチ適用作業を迅速化する

適用ビジネス/ユースケース

情報技術

企業・組織のCSIRTやシステム運用部門が、対応を要する脆弱性が発見された際の侵害有無の確認やパッチ適用判断を行う場面で利用します。外部から攻撃痕跡情報が公開されるのを待たずに侵害有無を早期に確認するとともに、複数の脆弱性への対処をまとめて検証し、脆弱性発見からパッチ適用までの時間を短縮します。

出展組織

NTT株式会社 社会情報研究所